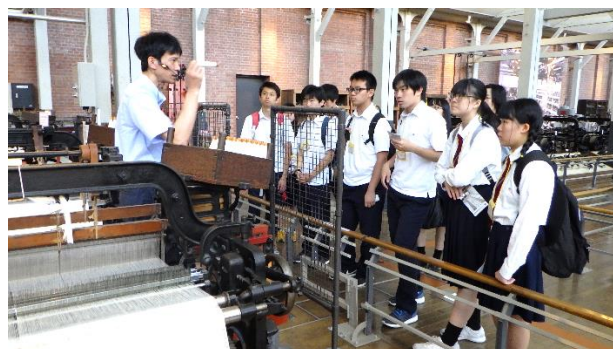


多治見高等学校 自然科学コース第一回校外研修報告

令和元年6月6日

- 1 研修先 トヨタ産業技術記念館及び東山動植物園（名古屋市）
- 2 目的
 - ・近代日本の発展を支えた産業技術に目を向け、現在学習している理科の授業とのつながりを理解し、自己の進路を考える。
 - ・生命の大切さや、それを支える自然環境の大切さを学び、持続可能な社会を作り出す意識をもち、自己の進路を考える。
- 3 日時 令和元年5月24日(金) 午前8時10分～午後4時20分
4. 生徒感想

<トヨタ産業技術記念館>



・綿から糸ができるまでの工程を、実際に機械を動かしながら順番に説明してもらいました。織機が時代が進むにつれて変わっていき、技術の進歩に驚きました。自動車の開発の展示では、並んでいる自動車がとにかくカッコよかったです。テクノランドでは強風を受ける体験や自動車の運転を体験しました。運転体験が思っていたより難しく、とても楽しめました。

・綿から糸、糸から布ができるまでの過程や歴史を学んで、先人の技術を発達させる思いに圧倒させられました。糸を作ったり、布を織ったりする機械を見て、とても若者が思いつき、考えたとは思えませんでした。先に生きてきた人々が様々なことを考え、発展させてきたおかげで私たちは快適な生活を送られていることに感謝したいです。



< 東山動植物園 >



・飼育員さんと直接お話して、自分の好きなこと/ものを生かして働くことは仕事のやりがいにもつながると感じました。なりたい職業について調べ、どのような進学先が一番自分にとって良いのか考えることが大事だと思いました。動物園には、アジアゾウ舎の周辺の小屋や蛇の置物など普通に見学していただだけでは気づかない工夫がされていたり、動物たちを気に掛けて作られていたりして驚きました。

・飼育員さんから、飼育の仕事は心から楽しむことが大事だと聞きました。動物は人間と言葉を交わすことができないけれど、人間がどのような気持ちで接するかが顔や目に出て、それを感じ取っていると教えていただきました。動物と接するときには、言葉が通じない分、人間も相手のことをよく見ていつもと細かな違いに気づくことが大切だと思いました。



担当：佐賀達矢 自然科学コース主任